

NITE流 新たな社会実装の仕組みづくり

【これまでの社会実装】

大企業中心で、必要に応じ国際標準化。中小・ベンチャー企業の技術は大企業との取引を通じて実装。

問題点：いずれの事業者にとっても社会実装までに長い時間を要する。加えて、特に、中小・ベンチャー企業の技術は信頼性が乏しい、実績がない等の理由から、実用化や製品化には至らず、結果として社会実装されにくい。

研究開発・知財

実用化、製品化

社会
実装

【これからの社会実装】

技術等の信頼性を確保し、事業者の規模にかかわらず自ら早期に社会実装を実現するため、評価制度の活用・普及を担う専門家を活用し、社会や市場で適切に評価されるようにする。

研究開発・知財

実用化、製品化

自ら社会
実装を実現

評価制度の活用・普及

NITEの新たな役割

技術の公的評価によって信頼性を高め、
中小・ベンチャー企業等の技術の社会実装に貢献

○制度構築支援

- ・第三者評価(認証、試験等)への活用
- ・認定制度の活用
- ・技術的妥当性の評価

○制度構築・運営人材の教育支援

- ・評価制度運営人材教育プログラムの提供

- ・公的認定機関であるIAJapan (NITE認定センター) を有する
- ・他にはない試験評価施設・設備(NLAB等)
- ・チームNITEを中心とした5部門の連携協力
- ・地域拠点となる7支所を活用した地域での連携
- ・高度専門性を有し、中立的な技術評価機関

NITEの強み

